

一 般 質 問 通 告 書

上記の件について、下記の通り質問したいので、会議規則第62条第2項の規定により通告します。

令和元年8月22日

東村山市議会議長 あて

議席番号

質問者

15番

志村 誠

記

1. 東村山市一般廃棄物の現状について

世界では海洋漂着ごみやマイクロプラスチックによる生態系への影響やごみから流れ出た有害物を飲み水から摂取することによる障害児が増えている一方スウェーデンでは96%をリサイクルしてごみを輸入してまでも資源としているという理想的な環境先進国を大きな目標として3Rの再認識と個人からの意識向上のために以下質問致します。

- (1) 「市民一人1日当たりのごみ量」が年々少なくなっているが、何が理由と考えているか伺う。
- (2) 小金井市の平成29年度「市民一人1日当たりのごみ量」が576.9gと突出して少ないが当市の653.1gと比較して考えを伺う。
- (3) 減量化対策事業の生ごみ減量化容器等購入補助事業の目標台数が1千200台だが6年間の実績が200台と伸び悩みの感があるが今までの累積台数と今後の周知方法について伺う。
- (4) 生ごみの減量化はごみの減量に重要であると考えますが生ごみ減量化容器以外に行政としての取り組みを伺う。
- (5) 一般廃棄物袋を収集する際に分別がされていなくて収集しなかった事例が多いケースと対処法を伺う。

- (6) 当市のリサイクル率5年間の推移と近隣市との数値の差について考えを伺う。
- (7) 資源物の持ち去り防止対策の推進で「収集委託事業者と協働してGPSによる追跡調査を実施した」とあるがその結果および過去5年間の発生件数を伺う。
- (8) 次期一般廃棄物処理基本計画を本年度、来年度にかけて策定すると聞いているが、計画策定に対して市民を含めてどのような取り組みを行うつもりか、伺う。
- (9) 当市のごみ処理施設整備そしてごみ減量に対して行政としてこれからどのように取り組んでいくべきか、市長に伺う。